

楓沢（枯沢）遡行

施行日：平成29年7月1日（土）

参加者：総リーダー相馬、リーダー；藤木・小山内、サブ；澤田
西田、藤木（た）、酒井、永宮、長沼、及川、山岸、
太田、河村、西田（昌）、水江、宇田、川村、近藤

行程：駐車場発；8時25分、楓沢；8時50分、365m
沢休憩；9時05分、2段目洞門；9時30分
左廻道ロープ場；9時40分、第3洞門；10時45
分、545m小岡広場11時20分、昼食；11時2
2分～12時03分、ロープ場；13時15分～13
時30分、駐車場帰着；14時15分

朝7時15人が幌別駅に集合、車4台に分乗、登別にて
1名をピックアップ、道道樽前錦岡線から樽前国道に出、
モーラップにてトイレ、国道の路肩に駐車、2名が出迎
え。紋別橋奥の林道は施錠の為駐車不可。登山支度を整
え（ヘルメット着用）、8時25分に出発。体操後、楓沢
を8時50分出発する。



広い河原をA班を先頭に遡行。台風の影響か倒木が河原を塞ぎ
乗り越え、くぐり抜けて進む。



9時18分洞門が姿を現す。瑞々しい苔に覆われキレイ
だ、触ってみたい。



丸太の上をおいちにで渡り、段差を木の足場を利用して
良いさと乗り上げる。



2段目の終点近く大きな崖が迫り、登はん禁止、左の廻
道を探る。



ロープを張った約10m近い道があり、一人ひとり慎重
に登る。



難所をクリアして、小休憩、ヤレヤレだ。
直ぐ3番目の洞門が始まる。



巨大な岩が剥離・落下し道を塞ぐ、横をとり抜け可能



木片の足場で2mの段差を乗り越え、広い河原で一服



奥は通れ相も無く、林の中を迂回する、広い河原に出て
一休みする。



5 4 5 mの小高い丘が見えて来た、明日のことを考慮してリーダーから今日の終点とする旨の宣告あり。



洞門をバックにニコニコ“ハイ！パチリ



この広場で昼食(11時22分～12時03分)を摂る。
白玉の木 笑顔でハイ“パチリ



ハイ、もう一枚



皆さん、足取りも軽く、快調に下り、楓橋まで下る。



林の中のう回路を通り、ロープ場を目指す。



途中ロープへの巻道が不鮮明な箇所があったが探し当てロープ箇所へ到達。

落石と滑落の危険性がある為1名ずつ慎重に降下する。

自転車道を通り駐車場に向かう、14時15分駐車場に無事帰着、ご苦労さんでした。札幌の1名とお別れし、5台で苫小牧のアルテンに入浴、疲れを癒し、リーダーと別れ、幌別駅で解散する。楓の沢は数回きているがあんなに迂回路があったのは初めて、何年も来ないと沢相が変化して居た。総リーダー、リーダーの先導で久しぶりの楓沢を遡行でき感謝します。満足の1日でした。

記：I k